

^{犠牲}
原爆犠牲者慰霊祭

中央日報 1968年8月6日付

6日、午前10時 ツウルの曹溪寺で 第1回韓
^{犠牲}
 国人原爆犠牲者慰霊祭が 200余名の被害者と
 100余名の社会人士、友人が集まる中で厳粛に
 行われた。

広島に 原爆が投下された日を決め 慰霊祭
 を行なった 執行委員会(委員長 金八峰)は、
 これが 23年間にわたって 原爆被害者らはあ利に
^{無関心のまゝ放置され}
 も ~~苦痛を~~ 抱かれていたと訴え、魂を慰める

省を大いに。

この日の慰霊祭会場には、原爆により上半身不随、
にやがた 金燦姫世史(68・永登市4街16)、顔
面神経痛を患った李慶竜氏(49・慶北高靈)など
が肩を交わしながら出てきて、その日の悪夢を思っ
て出てきた 23年間にかけて見捨てられた日本政界
の事情をとかめた。

原爆被害者は広島で死亡4万6千名、負傷2万
名、長崎で死亡1万2千名、負傷2万6千名^{合計}死亡5万6千名
負傷3万6千名^と推算されているが、日本側は1万6千名内外
とみられる。意見がいろいろある。

韓国人原爆被害者援護協会傘下には現在2045
名の被害者が登録しているが何らの援助も受けて
いない。

6日午前、日本の長崎市長は「韓国に在る原
爆被害者を助けるための市民募金運動を呼びかけ」
との電文を慰霊祭執行委員会に送り同時に
犠牲者らの冥福を祈る弔電を送った。